

# 大久保彦左衛門

帝キネ時代映畫

脚色者 上島一量  
監督者 山下秀茂  
撮影者 三木茂

## 主要役別

大久保彦左衛門 嵐 晴徳  
島津隆守 青木芳美  
伊予政宗 實川三郎  
徳川家光 尾上松三郎  
堀尾出雲守 中村仙三郎  
水野十郎左衛門 長田紅三郎  
近藤大左衛門 市川海老三郎  
笹尾喜内 市川紅三郎  
三浦屋主人 市川幅三郎  
酒井大老 嵐 廣二

一心太助 松本 田三郎  
出口伴左衛門 中村 辰曉  
侍者 玉川主膳 清水 隆之助  
藤堂伊賀守 淺尾 榮次郎  
乞食 吉川 楳二  
同 中村 獅歌平  
近藤川人 眞田 利成  
同 中村 小次郎  
同 瀨川 豊次郎  
馬丁 小阪 信夫  
目明 佐賀 清一  
同 嵐 徳三  
同 嵐 徳三  
同 嵐 徳三

大久保女おはま 滝川 一男  
三浦屋千鳥 立花 久枝  
解説 山下秀一氏の「武士と侠客」に次ぐ監督作品である。  
略筋 徳川幕府草創して茲に三代家光將軍の治世、天下、御意見番大久保彦左衛門は或る日



真窟 「大久保彦左衛門」帝キネ山下秀一作品。中決が主演者の嵐晴徳。

盤登城をして旗本の爲め氣を吐き、或は家光に勸めて諸大名に主従の誓を立てさせ八方に目を配つて誠忠を勵んだが尙幕府の威力を徹底せしめるため諸國漫遊を計劃した。その留守中家の普請を思ひつき費用を調べんとする折柄、日頃彦左衛門が愛してある一心太助から三浦屋千鳥身受の金の調達を頼み込まれたので、彦左衛門は太助を伴ふて伊達、藤堂、島津、各大名邸に向ひ忽ちの間に大金を拵へた。太助は婚約せる女中おはまは太助が心變りしたものと思ひ込み悲嘆に暮れた。彦左衛門は太助を責めたが實は役者玉川主膳のため太助が例の俠氣を出して出口伴左衛門に身受けせられんとする千鳥を救ふてやつた事が解つた。併しおはまは心安からず太助の本心をたしかめんと権現拜領の松をわざと折つた。太助はその身代りとなつて罪を被り手討になる事を確信したが彦左衛門はその氣性に感じ助命した。そして太助は彼の愛を知つて狂喜するおはまをあさに彦左衛門に伴はれて旅出つた。